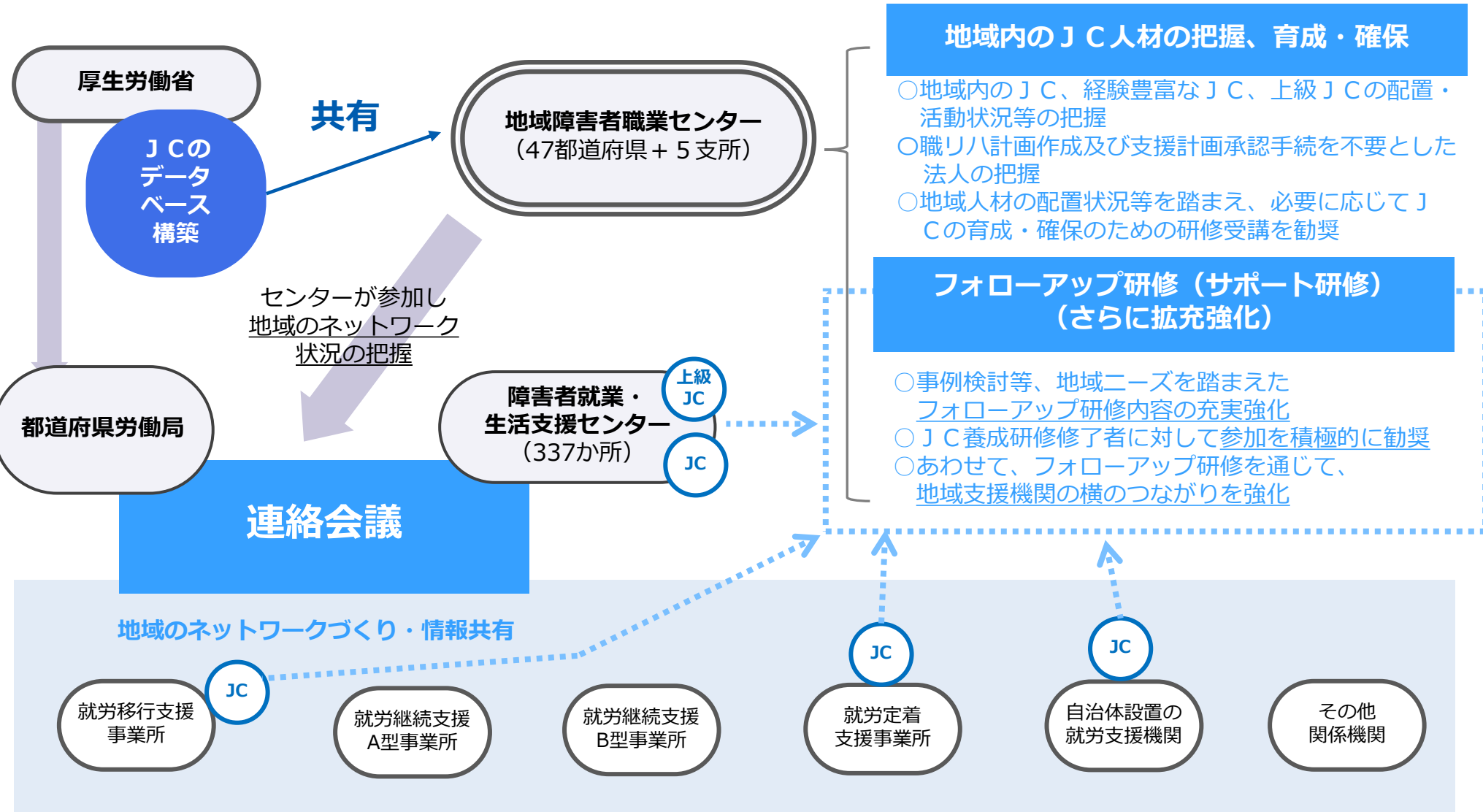


# J C 支援の活性化に向けた対応（地域における関係機関との連携、周知等）

## J C 支援活性化のためのネットワーク形成の今後の方向性（イメージ）



# J C 支援の活性化に向けた対応（地域における関係機関との連携、周知等）

J C 支援活性化のためのネットワーク形成の今後の方向性について、以下の観点から検討してはどうか。

## 〔 関係機関との連携 〕

### ○ JCのデータベース構築

厚生労働省において、JEED、JC養成研修機関等の関係機関からJCの研修修了状況や支援実績等を収集し、JCの情報をオンラインで確認可能なデータベースを構築することとしてはどうか。

### ○ 連絡会議の活用

労働局及び障害者就業・生活支援センターは、連絡会議において地域の支援機関等とのネットワーク作りの推進及び地域における支援実態の共有をすることとしてはどうか。

地域障害者職業センターは、連絡会議に参加し、共有されたこれらの実態等を把握することとしてはどうか。

### ○ 地域内のJC人材の把握、育成・確保

地域障害者職業センターは、JCのデータベースにより把握したJCの配置状況に加え、連絡会議への参加により地域の支援実態を把握し、引き続き地域内のJC人材の計画的な育成・確保を行うこととしてはどうか（例：支援が手薄な地域における養成研修の受講勧奨等）。これにより、地域のJC支援の活性化に向けて引き続き中心的な役割を担うこととしてはどうか。

### ○ フォローアップ研修の拡充強化

地域障害者職業センターによるJC養成研修修了者へのフォローアップ研修（サポート研修）について、地域ニーズを踏まえて充実強化することにより、地域内の支援力向上及びJC間の横のつながりを強化することとしてはどうか。

## 〔 周知、活用促進 〕

### ○ JCの社会的認知度の向上やその支援業務の具体的イメージ・魅力等を発信していくためにはどのような手段が考えられるか。

- ・ 国、支援機関、JC養成研修機関、JCなど、それぞれの役割・立場に応じてどのようなことができるか

### ○ 主に中小企業などの障害者雇用におけるノウハウが乏しく、障害者の雇入れや職場定着に向けた環境整備に係る具体的な取組について課題が多い企業においてJCの活用をどのように促進していくか。

### ○ 障害福祉サービス事業者（就労移行支援事業、就労継続支援事業、就労定着支援事業）との関係について、支援ニーズに応じた役割分担等についてどのように考えるか。